

# 2010年1月1日～2020年9月30日の間に岡山大学病院にて 頭頸部造影CT検査を受けられた方及びそのご家族の方へ —「口腔外科手術における顔面周囲血管の傷害リスクの検討」へご協力のお願—

研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科  
研究機関長 大塚 愛二  
研究機関名 岡山大学病院  
研究機関長 金澤 右

研究責任者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 歯科放射線学分野 助教 竹下 洋平  
研究分担者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 歯科放射線学分野 教授 浅海 淳一  
岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 口腔顎顔面外科学分野 准教授 伊原木 聡一郎

## 1. 研究の概要

### 1) 研究の背景および目的

抜歯術や上下顎骨骨切り術などの口腔外科手術において、周囲を走行する血管の損傷が生じることがあります。血管の走行は個人差が大きく、走行形態の把握は術式の決定過程や傷害リスクの低下に大きな影響を与えます。口腔外科手術における顔面周囲血管の傷害リスクを、CT画像を用いて口腔解剖学的に検討を行い、論文発表します。

### 2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

研究成果により将来の口腔外科手術の合併症を減少させることができる可能性があります。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

2010年1月1日から2020年9月30日の間に岡山大学病院を受診し、頭頸部造影CTが撮影された方100名を対象とします。未成年者や亡くなられている方も対象に含まれます。

### 2) 研究期間

倫理委員会承認後～2025年12月31日

### 3) 研究方法

2010年1月1日から2020年09月30日の間に岡山大学病院を受診し、頭頸部造影CTが撮影された方の顔面動脈、舌下動脈およびオトガイ下動脈など顔面周囲血管の走行、上下顎骨や歯牙との距離などの特徴的所見についてまとめ、論文発表します。

### 4) 使用する試料

本研究では試料を使用しません

### 5) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年

月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、身長、体重、診断名、家族歴、既往歴
- ・ 画像検査（造影CT）のデータ
- ・ 手術所見

## 6) 外部への試料・情報の提供

この研究に使用する情報は、以下の共同研究機関に提供させていただきます。提供の際、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます。

Tulane 大学医学部 脳神経外科学講座 岩永譲 准教授 (email: jivanaga@tulane.edu)

Tulane 大学医学部 脳神経外科学講座 R. Shane Tubbs 教授 (email: rtubbs@tulane.edu)

## 7) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年が経過した日までの間、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 歯科放射線学分野で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

## 8) 研究計画書および個人情報の開示

本研究で行なう検査や解析の結果はあくまでも研究として行い、臨床検査としての意義や精度が保障されているものではないので、原則、本研究に参加した患者本人に検査や解析の結果は通知しないこととします。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了承ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、2021年3月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。未成年者や亡くなられている場合には、ご家族等の代理の方のお申し出を受け付けることができます。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様が不利益が生じることはありません。

### <問い合わせ・連絡先>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 歯科放射線学分野

助教 竹下洋平

電話：086-235-6621 平日 8時30分～17時00分

ファックス：086-235-6709